

＜授業目的＞

人々の行動や考え方を“**人と人との関係（社会）**”に着目して“研究”することを目的とします。また社会でもっとも求められている「**集団で目標を達成する能力**」をお互いに協力して高めます。

「学校」が既存の情報・知識を覚えるところであるのに対し、「大学」とは、**新しい情報・知識を創造する**（＝研究する）能力を身につけるところです。人々について新しい情報を創りだすには、**他者の視点を取り入れる**必要があります。社会で役立つ卒業研究を行うために、そして卒業後、社会で活躍するためにゼミの仲間や、さまざまな人々と協力することを学びます。研究例を一つ紹介します。**研究例**：ある食品メーカーの製品では、アレルギー表示がパッケージの前面に「アイコン」で表示されています。このアイコンは、単にアレルギーを持っている方だけでなく、消費者一般に製品の安全・安心感を伝えることができ、購買を促進していることを明らかにしてくれました。紅翔祭で一般の方に2種類のパッケージを実際に見てもらい調査しました（彼はこのメーカーで元気に働いています）。

*他にも小宮山のホームページ (<http://www.nuis.ac.jp/~komiyama/>) に研究例が紹介されています。

＜各回毎の授業内容＞

卒業研究1：**ゼミで協力して実際に地域に役立つ活動**を行います。2014年度は、みんなでアイデアを出し合い、「**2014FIFA ワールドカップ ブラジル パブリックビューイング**」を開催したり、町おこしのための内野の酒蔵のお酒の**試飲会**を行ったりしました。

また各自、**研究計画と履歴書の自己紹介文**を執筆します。いずれも就職活動が本格化する3年次の2月までに終わらせておく必要があります。研究計画・自己紹介文の執筆は論理的な文章を書く大変良い練習です。また研究計画書が完成していると、研究のための総量が把握できているため、安心して就職活動ができます。2つの課題を作成するために図書館・データベースの利用法・研究方法の習得、面接の練習を行います。卒業研究1～3まで**グループワーク**を行い、**お互いの意見を参考**にしながら進めます。**やりたいことと就職と研究が一致**すると、いいですね。

卒業研究2：必要な文献を読み進め、執筆を進めます。また検証のための計画・準備を終わらせます。

7月末日まで、草稿を完成させ、分析結果を書き足せばよい状態にします（8月は就職のための試験が始まります。それまでに卒論を完成させておくと、安心できるとおもに、面接での話題も広がります。公務員試験受験者は試験日に応じて締め切りを変更します）。

卒業研究3：調査・分析等を行います。またお互いの草稿をテーマに、グループワークを行い、卒業研究を完成させます。また発表会の練習をととしてプレゼンテーション能力を高めます。

＜成績評価方法＞

卒業研究1はグループ活動（30%）、研究計画書（40%）、自己紹介文（30%）、卒業研究2はグループ活動（50%）と草稿（50%）、卒業研究3はグループ活動（30%）と卒業論文（40%）と発表会（30%）によって評価します。

＜受講に当たっての留意事項＞

*詳細は小宮山のホームページ (<http://www.nuis.ac.jp/~komiyama/>) で公開します。**志望理由の書き方**が記してありますので、小宮山ゼミを希望する方は、必ず参照してください。

*2年生の春休みにサブゼミ（1日程度）を開きます。日程等は参加者の皆さんの都合に合わせます。

*2年次・3年次ともに先輩の卒業研究発表会には必ず出席してください。

*ゼミにおいて無断欠席は認めません。全員に迷惑が及びます。可及的速やかに連絡してください。

＜学習到達目標＞

1. 自分の研究が社会にどのような貢献・影響を及ぼすか考察してください。
2. 新しく、社会に役立ち、根拠のある情報を創りだしてください。
3. 情報システムを利用して研究する能力を身につけてください。（関連する学習・教育目標：F）